

協働パイロット事業「小・中学生向け喫煙防止講演会」

アンケート集計結果

実施期間：平成17年 7月 ～ 12月(講演会実施は、9～12月)

実施校：小学校 20校、 中学校 4校

アンケート回収率：小学校 95% (19校)、 中学校 100% (4校)

1. 講演会への参加人数

小学校

児童・生徒	全学年(1～6年生)	5420 人
保護者		156 人
教職員	(級外職員)	252 人
その他(地域の方など)	(学校薬剤師、民生委員)	12 人

中学校

児童・生徒	全学年(1～3年生)	649 人
保護者		4 人
教職員		56 人
その他(地域の方など)	(他校養護教諭他)	13 人

2. 講演はいかがでしたか。

内容 1) わかりやすい 19校(82.6%)      2) ふつう 4校(17.4%)  
 3) 難しい 0校(0%)

時間 1) 短い 0校(0%)  
 2) 適当である 17校(73.9%)  
 3) 長い(少し長い) 5校(21.7%)  
 (時間内におさめてほしい)  
 (やや時間を過ぎた)

4) その他 1校(4.3%)  
 (時間が充分にとれず内容等を随分削っていただいた)

3. 今回の講演会は、市と市民団体の協働パイロットケースとして実施しましたが、来年度以降も継続した場合、また利用したいですか。理由もご記入ください。

1) 利用したい 21校(91.3%)      2) 利用したくない 0校(0%)  
 3) 経費・手間などの条件による 2校(8.7%)

## 理由

### 1). 【小学校】

- 内容がとてもわかりやすく、人形を使用したり自分の体で体感する場面があったりと工夫されていて、子どもたちも楽しみながら真剣に話を聞いていたので、他学年にも聞かせたいと思いました。
- 無料であれだけの事をやってくださり、日程や準備するものなども、学校の実態に合わせてくださったので、無理なく気持ちよくできたのでまた利用したい。
- 低学年に今後、講演を聞かせたい。
- 低・中学年にも理解できる内容で教えてもらえそう。  
資料、教材が多く、話がわかりやすい。
- 子どもにも大変わかりやすく、心に残ったようでした。
- 病気の映像が、子どもたちにとっては非常にショッキングだったようです。それが、将来、たばこは絶対吸いたくないという気持ちにつながっています。  
繰り返しの指導が必要な分野ですので、再びお願いしたい。
- いろいろな専門の方に生の声でお話を伺えるのはとても効果があり、私たち職員にとってもよい刺激になります。
- 19年度から、5・6年生を対象に1年おきに実施したい。
- 参加者(保護者・児童・職員)のアンケートのほとんどから、よいという結果が得られた。  
子どもたちにとって、タバコの害を映像で見られたことが、とても印象に残ったようだ。
- 継続して指導していきたい内容なので。
- たばこ病苦の擬似体験やスライドやビデオ映像を使ったわかりやすい講演だったので。
- 経費負担がないので。
- 山間部であるため、講師を単独でお願いすることは難しい。また、市主催のものがあれば活用したいと思う。
- 小学生でも飽きずに話を聞いていました。講師の方の熱意もよく伝わってきた。ただ情報量が多く、子どもの頭の中が飽和状態になってしまった気がするので、もう少し内容を吟味してもいいのかなとも思いました。
- 保護者や地域の方にも呼びかけ、子どもを取り巻く大人にも聞いていただきたいと感じました。

### 【中学校】

- とてもわかりやすく、子ども達にお話するのが上手だったため。
- 経費がかからず、教材もバラエティーにとんでわかりやすいものが多かった。
- 喫煙の低年齢化が進む今、心身に様々な影響を与えるタバコについて安易に手を出すことの危険性を医師や薬剤師の専門職の先生方だけでなく一般の市民が自分の人生・生き方を通して健康な環境・生活を作ることの大切さをご指導くださりよかったです。

- 3) ● 「無料」と銘打たれていたことと、市民団体だけだと、どのような活動をされているのか見

えない部分もありますが、市が関わっているという部分で安心して申し込めました。(初めてお願いしたので)

4. その他、ご意見、ご感想等がありましたら、ご記入ください。

【小学校】

◇ 実際の肺などを見る場面は、とても衝撃的で子どもたちにたばこの害を伝える上でとても効果的だったと思います。ただ、中には内臓の映像を見ることへの強い抵抗を示す子もいたもので、もう少し時間を短くしたほうがよいのではないかと少し感じました。

私自身、たばこについての知識が深まりましたしどんな伝え方をすれば子供たちを引きつけることができるのかということも学ぶことができ大変勉強になりました。

◇ 実際の映像を見せていただけた事は、とても衝撃的で見る人の心に残ったと思います。貴重な資料をたくさん準備していただいたおかげで、とてもわかりやすくよかったです。

◇ 低学年用のもう少し内容を楽にした講演があると嬉しいです。

◇ 病気実体験というアイデアが楽しかったです。写真、プレゼンテーションと視覚に訴える資料が豊富でわかりやすかったです。

内臓が見える、手術の映像は児童にとってショックな子もいたようです。

喫煙だけでなく、今後飲酒・薬物乱用についても指導していきたいと思います。

◇ 今回は、時間の都合で質問の時間がとれませんでした。子供たちの率直な質問に答えていただけるとありがたいです。

◇ ケンちゃん人形、ビデオ等、視覚に訴える教材を使用してくださり、興味深くお話を聞くことができました。

◇ この講演会の後、学校薬剤師さんに6年生の児童に薬学講座をしていただきました。学校薬剤師さんも講演会に出席して下さっていたので、内容をフォローしたりしながらより詳しく6年生に話をしてくれました。

◇ 児童の意見として、大人になっても吸いたくないという子が大多数で病気の写真を見てショックだったようです。

◇ せっかく腹話術の人形があっても十分使っていないようだったので少し残念でした。

◇ 時間の延長ができない状況で最後のほうがドタバタと終わってしまったので、時間と内容がうまく調整できるとありがたいと思いました。

職員の中には、病気の怖さの話が中心で脅しの部分が強いのでは…という印象をもった者もいたようですが、子供たちはそれを知ってたばこを吸わない手を出さないという認識を強く持ったようなので、知らせておくべき内容ではあると個人的には思います。子供たちは、映像や説明にとってもよく反応し興味を持って話を聞いていたと思います。

◇ スライドにルビがあると低学年にもよりわかりやすいと感じた。内容がとてもたくさんだったので2回くらいに分けても十分中身のあるものと思う。

◇ 自分自身の勉強にもなりました。プレゼンの表し方も大変参考になりました。会が終わった当日の昼休みに保健室を訪れた子供たちが「わかりやすかった。でもタバコはやっぱり興味はあるんだよな。」と笑って本音を語っていました。タバコの恐ろしさを伝えるだけでは、本当には子どもの心を動かさきれないんだなと感じた瞬間でした。そういう子供たちに学校

は更に何をどう伝えていったらいいのかなあと思いました。

- ◇ 学校保健委員会という場だったこと、保健委員によるアンケート発表を頭初から今回は近隣校で実施したときに見学させていただきました。

#### 【中学校】

- ◇ 映像の場面(手術シーンなど)が過激であった。きれいな肺と汚れた肺を見比べることができる静止画面で十分であったかと思う。事前に映像の部分だけでも確認できるとよかった。
- ◇ パワーポイントを使い、目から耳からタバコの手をすることができました。子どもたちは、あきることなく集中して聞きっていました。実際に息の吸いずらさを体験したり、タバコによりガンになってしまった映像を見ることにより子どもたちは絶対吸いたくないと思ったと思います。
- ◇ 講演時間が45分くらいであったため、内容が盛りだくさんで少しとぼしている様子だった。内容的には、中学生向けのものにしていただいたのでありがたかった。
- ◇ ただ話を聞くというだけでなく視覚に訴える資料や病気になった時に「体はどんな状態になるか。」などの体験学習も取り入れて指導していただいたので大変わかりやすく真剣に受けとめている生徒の姿や感想がありました。次回には保護者にも参加依頼をし、禁煙の輪を広げていきたいと思っています。